

みんなの力で 「郷づくり」 37



市郷づくり支援室 (津屋崎庁舎) ☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp



ふたつの座布団

地域の課題に向き合う自治会長の役割

一人に多くの役割

一般に「区長」と呼ばれている人は、区行事の世話役をはじめ市広報誌の配布、市への要望や地域と市とのパイプ役など、多くの役割を担っています。さらに公民館長を兼ねたり、そのほかの役割についていたり、何役も担っているのが現状です。そのほとんどの仕事を一人でこなしていることから、個人に大きな負担がかかっています。

このことから、区長のなり手が無い地域もあり、同じ人が何年も区長を務めざるを得ない場合や、反対に、その負担の大きさから区長の任期を一年としている地域もあります。
ふたつの座布団とは
一つは、自治会長(区長、町内会長)という立場。地

域住民の代表です。

もう一つは、市から委嘱を受けた非常勤特別公務員「行政区長」という立場。行政区長は、市から「行政区」内におけるいくつかの業務を委嘱された人です。市の委嘱業務ですから、行政の立場で仕事をします。

ふたつの座布団とは、立場の違いを意味します。
高齢化と今後の地域

市内の多くの地域で高齢化が急速に進んでいます。昨年十二月末で、六十五歳以上の高齢者が三〇パーセントを超えている行政区は、全体の三割強の三十一区でした。この数字は、五年前の十八区の約一・七倍と急増。既に高齢者が四八パーセントを占める行政区もあり、数年のうちには、五〇パーセントを越す行政区

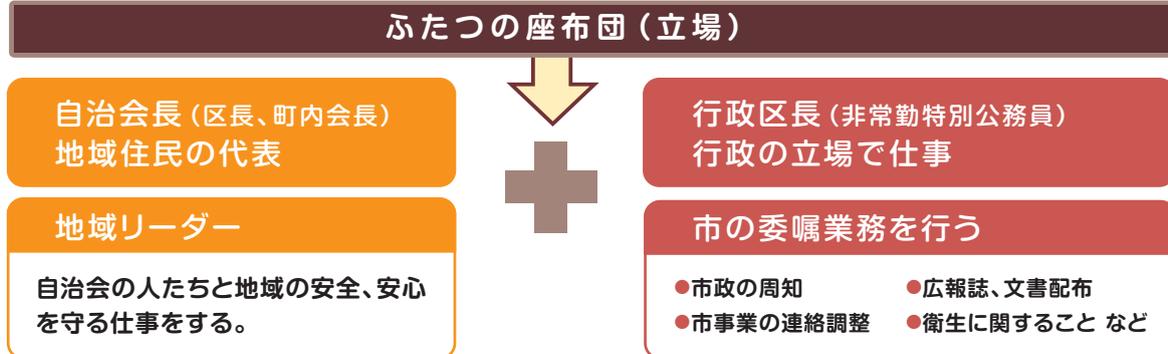
区が複数出現するのは現実です。

急速な地域の高齢化は、そこに住む人たちにいろいろな地域課題を投げかけます。特に、一人暮らしの高齢者や老夫婦のみの世帯などでは、分別収集や買物、救急時の対応などが困難になり、地域の支え合いが欠かせない状況になっています。

宮司地区では、自治会の中で、また、郷づくり推進協議会の活動で、要援護者を対象とした取り組み(分別ステーションへの運び出しの手伝い、助け合い福祉マップの作成)が既に始まっています。

自治会の役割と郷づくり推進協議会の役割を明確にして、共に地域の安全、安心を守っていくことが必要になってきています。

ふたつの座布団 (立場)



「広報ふくつ」へあなたのご意見をお聞かせください。

〒811-3293 福津市中央1-1-1 福津市役所(福間庁舎)総合政策部広報秘書課広報広聴係
☎0940・43・8113 FAX0940・43・3168 E-mail info@city.fukutsu.lg.jp

この広報誌は再生紙を使用しています。